参考資料第４－７号

事業系ごみの発生量推計について

今回計画の策定にあたっては、具体的な施策の策定に対する参考とするため、現在行っている事業者アンケート等の結果を利用して、事業者の資源およびごみの排出の実態を推計する。

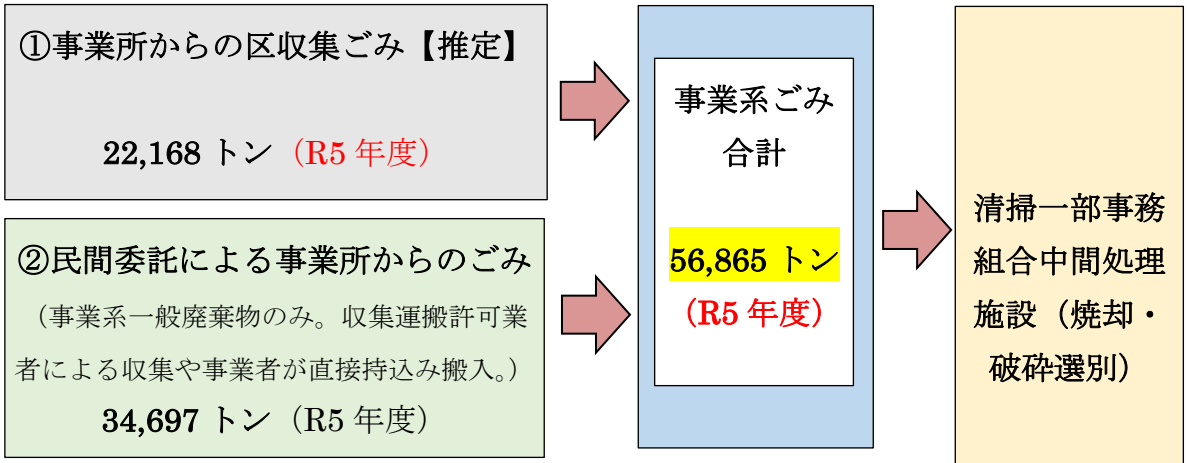
１．算出方法

①事業所からの区収集ごみ・資源（ｔ）＝
（区内事業者数【経済センサスより】－民間業者と契約する排出事業者数）
×区内事業者１社の１年間あたりの平均ごみ・資源排出量【事業者アンケートより】

②民間委託による事業所からのごみ（ｔ）
区別持込ごみ量算定分科会の算定結果より

２．事業系と家庭系のごみについて

〈事業系ごみ量（年間）〉



〈家庭系ごみ量（年間）〉

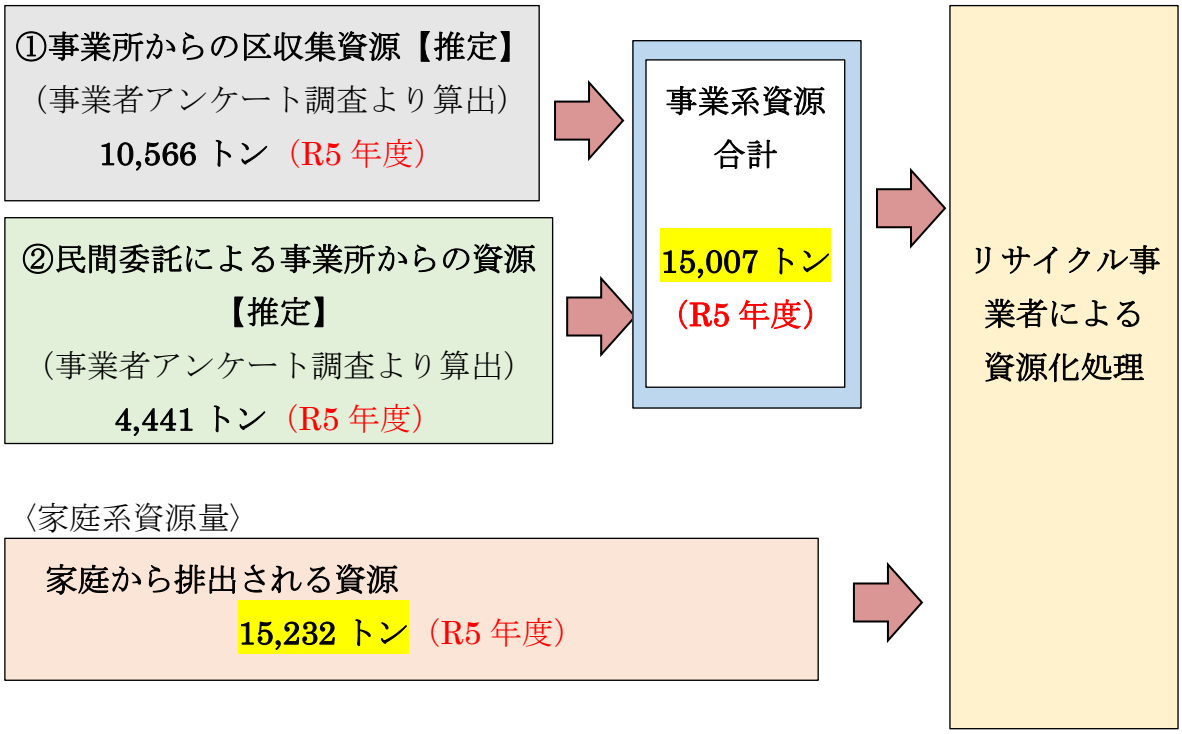
家庭から排出されるごみ
可燃ごみ 46,562 トン＋不燃ごみ 133 トン
＝**46,695 トン**（R5 年度）

参考資料第４－７号

３．事業系と家庭系の資源について

〈事業系資源量〉

※事業者によっては資源化を行っていない事業者もあるが、事業者の資源化実施の有無を判断できないため、全事業所が資源化していると仮定して算出。



上記の事業系ごみ・資源量（推計）は、事業者アンケートの中で「区の収集に排出している１週間あたりのごみ・資源量はどのくらいか」という質問結果を活用し、算出している。

「区の収集に排出している１週間あたりのごみ・資源量」の質問項目は、今回実施した事業者アンケートから追加した質問であるため、前回までの事業者アンケートには当該質問がなく、上記の算出方法で過去の事業系ごみ・資源の推計量を出すことができない。

今後は、当該質問を追加した事業者アンケートから把握できる数値を使い、上記の算出方法で事業系ごみ・資源量を推計・把握することで、事業系ごみ・資源にかかる対応や方策を検討していく。